



# サンタ新聞

---

NPO 法人チャリティーサンタ活動報告書

2018.6～2019.5

- 01** 数字実績 / 活動エリア
- 02** 10年かけて、チャリティーサンタの夢が叶った話
- 03** 西日本豪雨・被災地サンタプロジェクト
- 04** 困難を抱える子どもたちに思い出をとどけるプロジェクト
- 05** 福島生き×生きキッズ2018 & 2019
- 06** 大賞受賞!!NPOによるICTサービス活用自慢大会
- 07** 収支報告
- 08** 2019年度トピックス
- 09** 未来のこどもたちへの手紙

## 00 チャリティーサンタとは / 2018年度を振り返り

### 日本発祥のサンタクロース団体

「世界中の子ども達を笑顔に」というコンセプトの元、2008年から活動を始めたチャリティーサンタ。6歳の頃にサンタさんが自分に会いに来てくれた思い出を忘れられず「今度は自分が届ける番だ」と思った男性（現代表理事）と、世界一周旅行中に出会った途上国の子どものために「日本で彼らのために何かをしたい」と心に決めた女性。そんな2人が偶然出会い、お互いの想いを共有する中で、チャリティーサンタのアイデアが誕生しました。

※チャリティーサンタは、特定の国や海外の団体、特定の宗教とは一切関係はありません。

### 2018年度を振り返り

岡山、広島、愛媛を中心に起きた7月豪雨災害をはじめ、地震・台風などによる全国的に災害の多い年となり、多くの子どもたちが体験などが不足する環境となりました。

貧困や災害など、種類は違うものの、「特別な思い出」「体験の格差」をなくしていくために。すべての困難な環境に関係なく、すべての子どもたちに心に残る思い出を届けるために働きかけた1年となりました。

# 01 2018年度実績



サンタになった人の数

**1,754 人**



ご家庭

**1,369家庭**



プレゼントを配った  
子どもの人数

**5,500人**

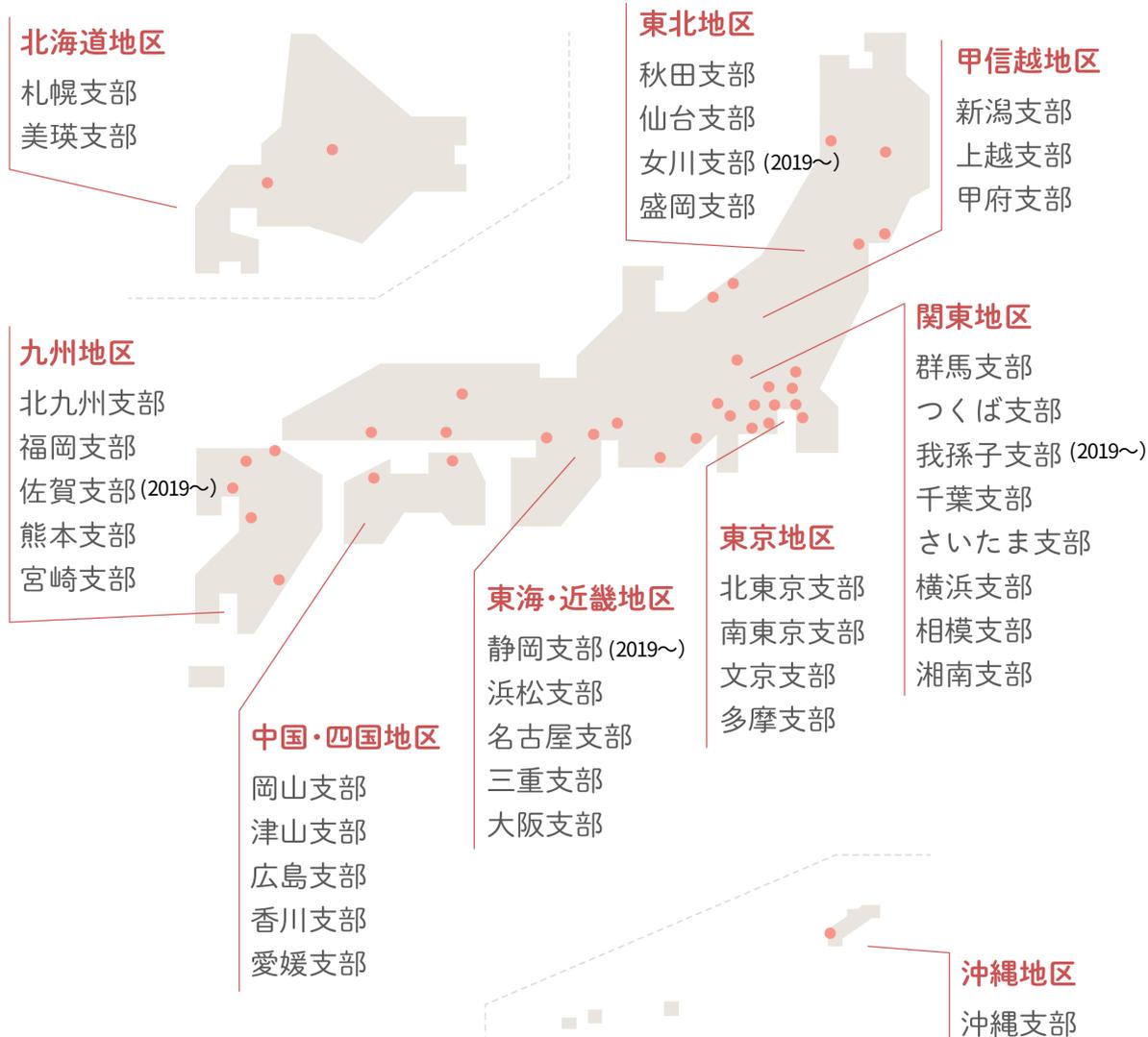


うち、ルドルフ基金での訪問

ご家庭 : **364家庭**  
こどもの数 : **1,291人**

※ ルドルフ基金については  
「04困難を抱える子どもたちに思い出をとどけるプロジェクト」  
をご覧ください。

# 01 支部紹介エリア



2018年度は美瑛支部、新潟支部が新しく発足。また九州で宮崎支部が8年ぶりに再開。活動の範囲が広がりました。

特に宮崎支部では支部の再スタートでクラウドファンディングを実施。「サンタさんを支えたい!」というたくさんの思いが集まり、サイト上だけでも、71の方が寄付を寄せてくださいました。

2019年は女川、我孫子、静岡、佐賀と4地域に仲間を増やして活動をすすめます。

ぜひみなさん広がりをお支えしていただけると幸いです。

## 02

# 10年かけて、チャリティーサンタの夢が叶った話



2011年当時11歳の彼に、私達がプレゼントを届けてから7年後。

今年2018年、彼は18歳の青年になり、今年のイブにサンタになる時がきました。

「届けられた側」が  
「届ける側」になる。

チャリティーサンタがずっと夢が  
10年目に叶いました。

その時の様子を動画にまとめているので  
是非ごらんください。

URL:

<https://www.charity-santa.com/about/letter-for-children/#mirai>



### 03 西日本豪雨・被災地サンタプロジェクト

災害のあった年だったからこそ、

1年の最後は笑顔の思い出になって欲しい。

“被災地にクリスマスの最高の思い出を届けよう!!”

7月の西日本豪雨で被災した岡山、広島、愛媛のこどもたち881人(手紙も含む)へ無償でサンタクロースとプレゼントを届けました。



### 03 西日本豪雨・被災地サンタプロジェクト



豪雨被害によって生活環境が一変してしまった中、親御さんから  
「こどもの笑顔が見たい。  
サンタさんの言葉なら前向きな気持ちがつく  
れて、前向きな明日をつくる道筋になってくれ  
る。」  
という声を頂き、胸が熱くなりました。

「いつの日か振り返り、こんな事もあったんだ  
ね、多くの人に支えて頂けて嬉しいな、と心の  
成長に繋がってくれたらと思います。もうだめ  
かと、心折れそうな時、みなさんの姿を思い出  
すと、不思議ともう少しやってみようか、と頑張  
れます。道のりは果てしないですが、頑張る力  
をもらえました。」

### 03 西日本豪雨・被災地サンタプロジェクト



今回被災して仮設住宅に引っ越したから、と心配する娘。夜プレゼントを持ってくる場所を確認して来てくれたのだと伝えると安心していました。自分の名前を知っていることにも驚いていました。7歳の次女は人見知りなので緊張していましたが、お話をしたりプレゼントを頂いてからは興奮していました。被災してから、カメラを向けてもあまり笑ってくれなくなりましたが、サンタさんのお陰で笑顔の写真が撮れました。

ルドルフ基金活動では経済的な事情や家庭の事情で「思い出が不足している子ども」へ、チャリティーサンタが準備したプレゼントやサンタからの手紙を届ける活動を行っています。

今年は経済的困窮家庭、被災家庭、病気の子ども達など

1291名

(364家庭 ※一部施設や支援団体のクリスマス会を含む)

にプレゼントと思い出を届けました。



## サンタさんにきてほしいという家庭の声(2018年度)

「母子家庭のため、日々の生活に追われて一般家庭のように旅行や遠方レジャーを経験させたこともなく、いつも心苦しい思いがありました。去年チャリティーサンタの存在を知り、いつも我慢させている分、せめてクリスマスにサンタさんに会わせてあげたいなと思い、応募させて頂きました。当日は想像以上に喜び、サンタさんが帰っても大興奮。その姿を見て親として色々な感情でこちらまで泣けてきました。」





サンタから直接プレゼントをもらったこともないため、「うちにはサンタが来ない」とぼやいていました。

クリスマスイブ、オートロックの画面に映し出されたサンタを見て絶叫、そして落ち着かなく部屋を走り回り、体全体で喜びを表現していました。実際、玄関での対面の際は、かなり恥ずかしかったようで、照れて隠れたりしていました。でも、温かく対応していただき、徐々に緊張もほぐれ、とても楽しい時間を過ごせたようです。

サンタさんが帰った後も、サンタさんとの会話を何度も繰り返していました。素敵な時間と夢を与えていただきありがとうございました。今回はひとり親枠での応募でしたので、無料で対応していただきました。サンタさん、スタッフの皆様、絵本の寄付をくださった方々など、多くの方々に感謝いたします。



チャリティーサンタでは企業の「子どもたちのために」を形にするお手伝いをしています。

2017年から始まった絵本を寄付用に購入する取組「ブックサンタ」は大きく拡大。2018年度は22都府県200書店で、実施することができました。

今年は連携する書店が増え、さらに拡大・実施をする予定です。

## 05 福島生き×活きキッズ2018&2019



2011年の震災を機に「子ども達の生きる力を応援したい!」

という思いで始まったこの企画。

2018年は西日本豪雨で被災した子どもたちも参加をしました。

また2018年のクリスマスのチャリ

ティーを使い、2019年もツアーを実施しております。

子どもたちの大切な夏休みの思い出支援。

ぜひレポートをご覧ください。

2018年度：<http://bit.ly/2m2nfOA>

2019年度：<http://bit.ly/2lG4K2t>



## 06 大賞受賞！！NPOによるICTサービス活用自慢大会



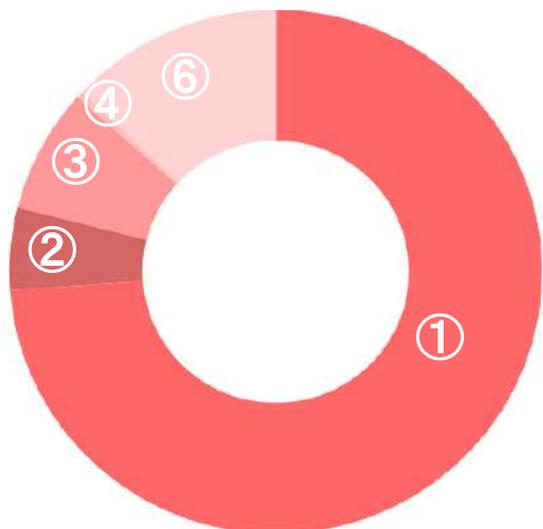
「第2回 NPOによるICTサービス活用自慢大会」において、チャリティーサンタが大賞を受賞しました。

「子どもたちのために活動したい」と集まったボランティアとして関わってくれる運営メンバーが「子どもと関係ないパソコン作業や事務作業が意外と多い…」というギャップを埋めるために、2018年度にITツールを色々と導入しました。

大切なことは「サンタになりたい」「活動を支えたい」と思ってくれた様々な方にとって、参加しやすい・活動しやすい環境を整えていくこと。

まだまだできることはあるので、今後も改善を進めて、全国400人の支部の運営メンバー（ボランティア）が活動しやすい環境をつくっていくよう努力していきます。

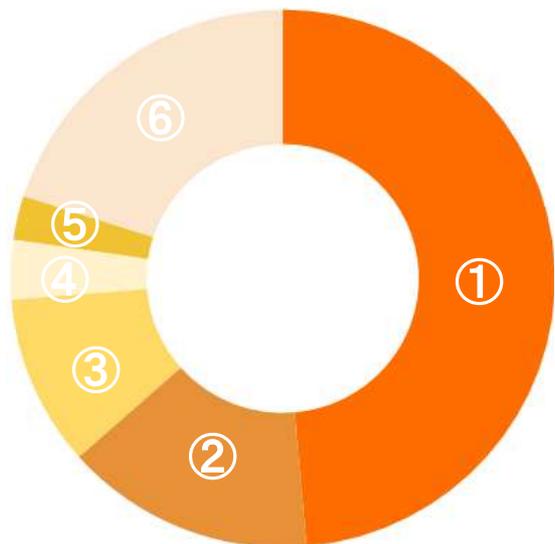
## 07 収支報告



### 収益

**合計 22,794,667円**

- ①サンタクロース訪問事業 73.9% / 16,837,258円
- ②チャリティーグッズ事業(ネパール事業など) 5.1% / 1,155,956円
- ③子どもの体験活動(福島生き×生きキッズなど) 7.7% / 1,752,813円
- ④社会参画の事業 0.3% / 61,300円
- ⑤調査研究の事業 / 8,781円
- ⑥法人管理 13.1% / 2,978,569円



### 支出

**合計 23,071,988円**

- ①サンタクロース訪問事業 48.6% / 11,213,678円
- ②チャリティーグッズ事業(ネパール事業など) 14.8% / 3,425,954円
- ③子どもの体験活動(福島生き×生きキッズなど) 10.3% / 2,373,747円
- ④社会参画の事業 3.6% / 822,523円
- ⑤調査研究の事業 2.7% / 612,000円
- ⑥法人管理 20.2% / 4,624,086円

## 08 2019年度トピックス

### 企業に加えて行政とも。様々な大人に子どもたちに働きかける仕組みづくりを!

絵本を寄付用に購入する取組「Book santa」は連携する書店を増やし展開。全国にある大手書店との連携もきまり、全国的な企業連携がすすんでいます。また今年には地方政令指定都市(岡山市)と協力し、ひとり親家庭の体験についてのニーズを探る予定です。さまざまな立場の大人が子どもたちのために働きかけることができるクリスマスをめざし、今年も連携できる企業を増やしていきます。また詳細は今後発信していくので楽しみに!

### 新体制でスタート。様々な課題にも向かい合えるように!

2008年のクリスマス。100%ボランティアで日本の子どもに達するサンタクロースになってプレゼントを届ける、その寄付で海外の子供たちを笑顔にしよう!と、集まった私達。その後NPO法人となり、つい先日職員としてのスタッフが【4名体制】に増員しました。ようやく団体らしくなり、また様々な課題解決に向かい合えるようになりました。この機会に改めて感謝申し上げるとともに、より子どもたちの未来に働きかけることができるように努めていきます。

### 映画「サンタカンパニー」を応援します!

2019年12月、全国劇場公開を予定している、映画「サンタ・カンパニー〜クリスマスの秘密〜」。  
チャリティーサンタはこの映画を団体として応援しています。  
共にクリスマスやサンタクロースをテーマに活動する者同士、原作・脚本も務める糸曾監督とも思いが重なる部分も多く、12月にかけていろいろと連携していくことになりました。



## 09 未来の子どもたちへの手紙

突然のごさびっくりしたかな？

これからする告白は、あのクリスマスの日のごさびです。  
大人の仲間になったキミに、あの日のことを話す時がきました。  
こころの準備はいいですか？ まあ、はじめましょう！

2014年の12月24日、キミはサンタに会ったことを覚えていますか？

ワタシはあの時の「サンタクロース」。  
あの日、キミの家族がキミを書かせようとワタシにプレゼントをたくして、  
それを持ったキミに会いに行ったのです。  
でも…実はあれは1軒いくらかのチャリティーをもらうことで、キミだけじゃなくて、  
東北やネパールの子どもたちも笑顔にしよう、というチャリティー企画だったのです。  
それを「ステキだね」って言ってくれたキミの家族が  
ワタシたちを呼んでくれたというわけです。

キミの家族がキミとどれかの幸せを願ってくれて、  
クリスマスにはたくさんチャリティーがあつりました。

そしてそのチャリティーで  
東日本大震災を経験した子どもたちとネパールの子どもたちに  
「未来への希望」と「笑顔」をプレゼントすることができました。

キミがこの手紙を読んでいる頃には、  
あの子どもたちも、未来をつくる若者として成長しているでしょう

サンタがキミの所々に来たあの日、キミの家族や、実はキミ自身が  
東北やネパールの子どもたちのサンタになっていたのです。  
キミを書かせたいと願う家族、そしてなによりキミがいたから  
世界中の子どもたちへ「笑顔というプレゼント」を届けることができました。  
本当に、本当にありがとう。

今キミにとってサンタクロースはどんな存在ですか？  
ワタシはキミのサンタになって、  
キミとキミの家族や東北やネパールの子どもたちと出会えて嬉しかったです。  
「だれかを笑顔にしたいって気持ち」が「サンタクロース」なのかもしれないって、  
大きくなったキミへ 2014年のサンタクロースより



「サンタさんなんていないんだ・・・」  
子どもたちがおとなになった時。  
いつかそう思う時が来てしまいます。

チャリティーサンタでは、数年後～十数年後に  
読んでもらう「未来の手紙」を準備して、保護者の  
元へお送りしています。

チャリティーサンタでは「サンタクロース＝プレ  
ゼントを渡す人」だとは捉えていません。

「サンタはいないのではなく『誰かを笑顔にした  
って気持ちがサンタクロース』」「誰かの笑顔  
を願って、何かをすることは素敵なことだよ。」

プレゼントを貰う側の子ども達が、十数年後には  
「次の世代の子どもたちに渡す側になる」日を  
夢見て、このような手紙をお送りしております。